



鹿屋市国際交流協会設立10周年記念イベント

グローバル・フェスタ〜われら地球人〜



観客も一緒になって西アフリカの楽器ジャンベを演奏



協会設立時より会長を務める岡崎継義会長があいさつ

世界がもし 100人の村だったら

地球上には63億人が生活していますが、もしもそれを100人の村に置き換えてみるとどうなるのでしょうか。

当日は、この100人の村を実際に再現して、参加者みんなで世界の実状について理解を深めました。



アジアの人口密度を再現

内容の一例

100人のうち52人が女性で、48人が男性です。30人が子どもで、70人が大人です。

すべてのエネルギーのうち20人が80%を使い、80人が20%を分けあっています。

75人は食べ物の蓄えがあり雨露をしのぐところがあります。でも、あとの25人は、そうではありません。

銀行に預金があり、財布にお金があり、家のどこかに小銭が転がっている人は、いちばん豊かな8人のうちの1人です。

村人のうち1人が大学の教育を受け、2人がコンピューターをもっています。けれど、14人は文字が読めません。

17人は、きれいで安全な水を飲めません。

鹿屋市国際交流協会は鹿屋市の持つ地理的、歴史的特性を生かし、他の民間交流団体と連携して市民主体の国際交流・国際協力活動を推進することを目的に平成8年に設立されました。

今年設立10周年。現在148人、33団体が会員登録を行っており、様々な国際交流活動を行っています。

10月29日には、霧島ヶ丘公園で10周年を記念して「グローバルフェスタ〜われら地球人〜」を開催。国際色豊かな各種イベントが行われたほか、世界11か国の料理を味わうことができるレストランなどが出店され多くの人出でにぎわいました。



国際色豊かなフリーマーケット



世界11か国の味を楽しめたグローバルレストラン

ボランティア募集

協会の事業を企画・運営するボランティアスタッフを随時募集しています。

会員募集

(会員特典)

情報、出版物の提供
協会が主催、又は協力する講演会やイベント等への案内

協会自主事業参加料の減免
ホームステイプログラム

や各種交流事業等への参加

(年会費) 1口当たり

学 生	1	0	0	0	0	円
個 人	2	0	0	0	0	円
家 族	3	0	0	0	0	円
団 体	1	0	0	0	0	円

【問い合わせ・申込先】

鹿屋市国際交流協会事務局

(市民活動推進課内)

0994・31・1147